

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.138

Plattsの陸上物の説明会が本日開催されました - 石油価格指標とPRA -

■ 前回の説明会（9/13）（私のメルマガNo.134をご覧ください）と違う点がいくつかあります。

| | 9/13公表 | 9/22公表 | 中澤のコメント |
|---------|--|---|---|
| 開始日 | 12月 | 12月12日 | もっと早く始めてほしかった。 |
| 積込地の追加 | 千葉： コスモ石油・千葉製油所 東燃ゼネラル・千葉工場 出光興産・千葉製油所 富士石油・袖ヶ浦製油所 神奈川： 東燃ゼネラル石油・川崎工場 東亜石油・京浜製油所 JXエネルギー・根岸製油所 | 千葉： 丸紅エネックス・千葉タンクターミナルを追加 神奈川： 大東タンクターミナル・横浜油槽所 橋本産業・横浜油槽所を追加 | 製油所に加えて、商社系の大規模油槽所を追加。 （RIM：製油所と油槽所は別々に公表） 元売の自由に価格が決められるという危惧している方が存在 ⇒ 指標の公平性は向上するので、私としては、これでいいのかなと思います。 |
| 数量下限の引下 | 100KL | 50KL | 10KLという選択肢もありますが、私がお願いした通りになりました。 |

■ 石油価格指標とPRA

前回のメルマガ（No.137）の内容に関して、色々問い合わせ等をいただいています。私は、IOSCOのPRA原則を全て理解しているわけでもありません。（仕事の依頼があれば必要ですが、現在、PRAに関する業務の依頼はありませんので…）

私がPRA取得済みとしているのは

- 日本での評価手法でPRA取得：RIM海上・陸上
- 海外（主に米国）でPRA取得済みの評価手法と全く同じ手法で日本国内で評価：Platts海上・陸上（Plattsの日本の陸上は、米国等の陸上物とは評価手法が異なりますが、米国等の海上物と一緒にです）

海外でPRA取得済みの評価手法とは異なる手法での評価は「取得していない」としています。

（海外でPRAを取得していれば、異なる手法で評価しても「取得済み」だという主張には私としては同意できません）

もし、私と異なる見解をお持ちの方は、メールでそのご主張を根拠と共にお知らせいただけるとありがたいです。

nakazawa-cpa@eco.ocn.ne.jp

太陽石油の南西石油買収No.2 - 沖縄は日本の近未来 -

■ 11月10日にブルンバーグから「太陽石油：南西石油買収で沖縄市場に参入-再編下でも独立経営を死守」という記事が配信されました。以下、要旨と一部私のコメントです。

- 太陽石油は、沖縄県内での石油製品の卸売り事業に参入する。（「小売」参入ではありませんので、ご注意ください）
- 国内で最も原油処理能力が小さい同社は自社製品の販売先を広げ独立経営の維持を目指す。
- 同社の石油製品販売（200万KL）の7割弱が自社系列の給油所以外への販売だ。
- 沖縄県は同社にとって適正利潤を確保できる「チャンスのある場所」との見方を示した。
- 手続きの終了する12月には南西石油が保有する沖縄県内の西原製油所の原油や石油製品の貯蔵タンク36基（容量約150万KL）などを引き継ぐことになる。
- 今後数十億円～100億円程度を投じて西原製油所の精製設備を解体するほか、老朽化設備の改修を含む設備投資を行う。
- 約10基ある原油タンク（同約100万KL）のうち、老朽化していないものについては四国製油所の予備タンクとして活用することで原油調達の効率化も目指す。「小さい規模の製油所が競争力を持つためには安い原油をしっかりと調達できることが大事」と指摘。四国にある9基の原油タンク（同64万KL）だけでは難しかった機動的な調達の可能な体制を整えコストを削減する。
- 太陽石油は現在年200万KL程度のガソリンを全国で販売している。
- 南西石油取得後は西日本を中心に販売する体制にシフトするとともに、以前は年35万-40万KL規模、沖縄県内のガソリン販売シェア6割を握っていた南西石油分の獲得を目指す。
- （来年3月が期限の）第2次高度化法の対応では、沖縄への石油製品の販売増を想定してRFCCを増強するか、常圧蒸留装置の能力削減で対応を検討している。

■ 色々な話が…

「PBだけが大幅値上げになる可能性があり心配だ！」

「太陽石油は業転元売だからPB天国になる！」

■ 全ては経済合理性

どうしてこんな高額で太陽石油が購入？との問い合わせが多いです。

私は全てが経済合理的であると考えてますし、実際、私の推察通りになってます。

■ 沖縄は日本の近未来

沖縄をきちんと分析し、適切に対応することは、全国のSS経営にとって、非常に重要な道標になります。

私はマスコミではありませんので、取材することは出来ませんが、お話しをお聞きする機会があればと願っております。